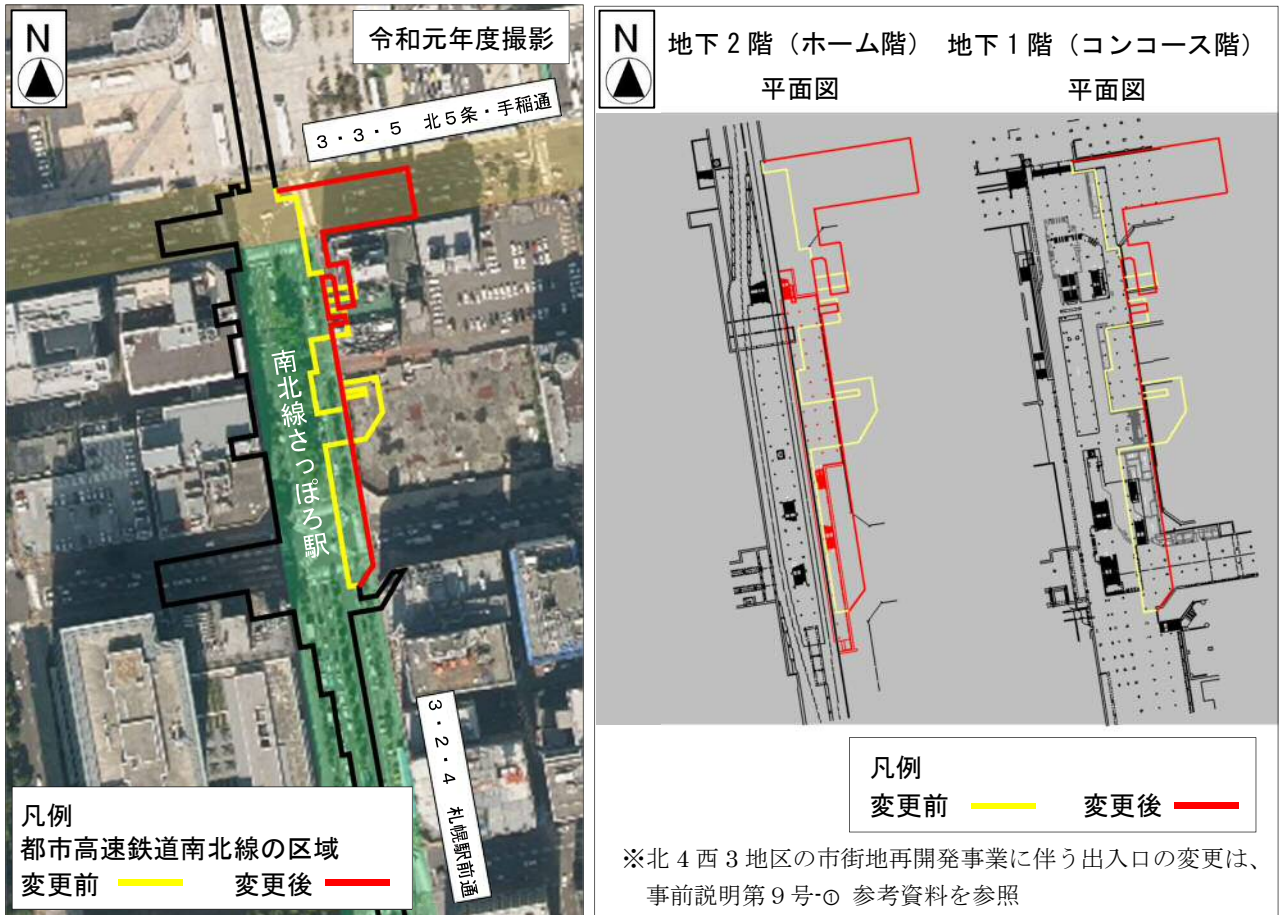


□ 都市高速鉄道「1号高速鉄道南北線（さっぽろ駅）」の変更について



1. 都市計画変更の内容

- 1号高速鉄道南北線（さっぽろ駅）
変更内容：一部区域の変更
変更位置：札幌市中央区北4条西3丁目地内
- 8・4・35札幌駅前通公共地下歩道
変更内容：一部区域の変更

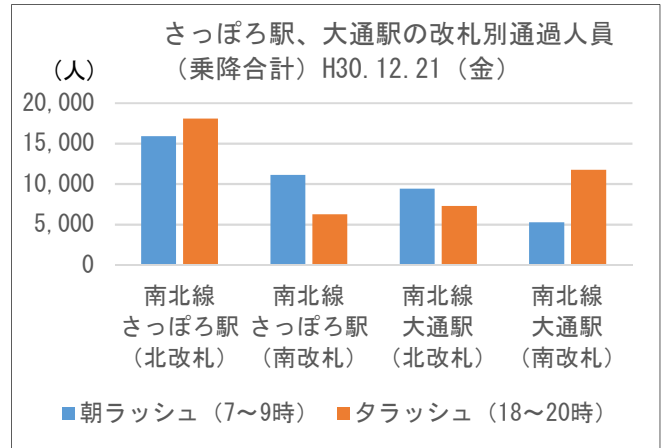
2. 経緯

- ・平成23年3月 札幌駅前通地下歩道（チカホ）開通
- ・平成29年9月 東豊線連絡通路柵撤去
- ・令和元年10月 地下鉄南北線さっぽろ駅ホーム増設決定

3. 変更理由

○南北線さっぽろ駅の混雑常態化

- ・同駅の日平均の乗車人員は、5万7千人(2018年度実績)となっており、札幌市営地下鉄駅最大の混雑駅となっている。※朝タラッシュ時は、駅員を4～6名増員し通行を整理
- ・現在のホーム形状は島式で狭く、JR札幌駅への最も一般的な経路である北側の階段は著しい混雑が常態化している。
- ・2030年度の北海道新幹線札幌駅の開業や北4西3地区をはじめとした、JR札幌駅周辺の大規模な再開発事業の計画により、同駅の利用人員の更なる増加が予想される。



○南北線さっぽろ駅とJR札幌駅とを結ぶ北側経路の移動円滑化

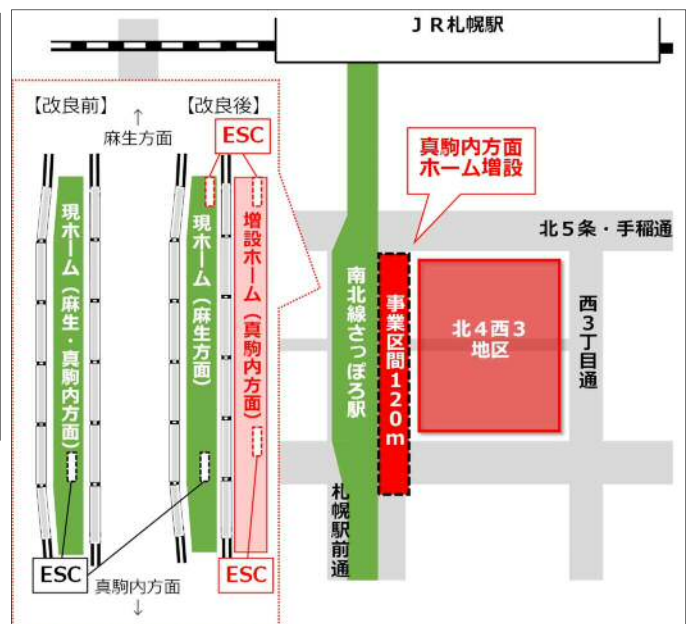
- ・南北線さっぽろ駅ホームの北側階段にはエスカレーターが設置されておらず、高齢者等の社会進出の促進に対応するためにも、利用者の利便性向上が必要。
- ・しかしながら、現行の島式ホームのままでは北側階段の混雑解消は図れず、エスカレーターを整備するための工事スペース確保は困難。

4. 事業概要

○南北線さっぽろ駅のホーム混雑緩和、利用者の移動円滑化や利便性の向上を目的として、真駒内方面ホームの増設に伴い、1号高速鉄道南北線の区域の一部を変更する。

- ・現ホームの東側に新たにホームを増設し(島式→相対式)、現ホームを麻生方面専用、増設ホームを真駒内方面専用とする。
- ・新設ホームの北側、南側に階段及びエスカレーターを整備する。
- ・ホームを増設し旅客を分散したのち、現ホームの北側階段部にエスカレーターを整備する。
- ・B2階に改札口を設け、北4西3地区の再開発建物と接続するとともに、エレベーター、エスカレーター及び出入口を一体的に整備する。

○南北線さっぽろ駅の真駒内方面ホーム増設による改札形状の変更に伴い、8・4・35札幌駅前通公共地下歩道の区域の一部を変更する。



5. 今後のスケジュール(予定)

- ・令和5年度 本体工事着手
- ・令和10年度 工事完了